

月刊



平成25年4月1日発行 通巻207号
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会
 〒520-0801
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館 3F
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

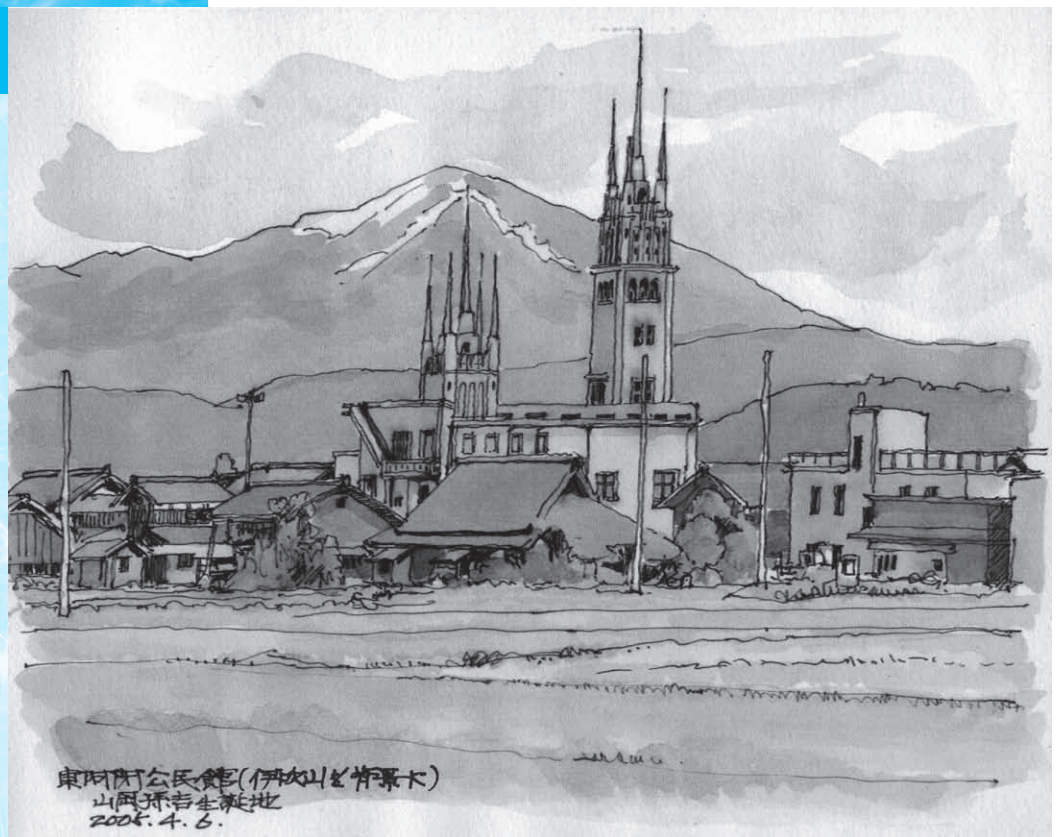
公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : shiga-sa@mx.bw.dream.jp

湖国が滋る・水と緑の街づくり

CONTENTS

- ・対談 滋賀県立大学「田の浦地区」
復興支援活動に学ぶ…………… 2
- ・湖東地区委員会
滋賀県建築士会湖東地域会
東北研修旅行報告…………… 3
- ・総務企画委員会
平成25年度 通常総会開催のご案内… 4
- ・まちづくり委員会
第3回 建築甲子園 表彰式の報告
- ・渉外事業委員会
平成25年度 一級建築士定期講習
二級建築士定期講習 木造建築士
定期講習 のおしらせ…………… 5
- ・お知らせ
構造計算適合性判定における
「よくある質疑事項の解説」の説明会
- ・建築士試験運営チーム
平成25年二級建築士試験・
木造建築士試験案内
- ・青年委員会
あーき塾2013「わさび臭気発生装置付
住宅用火災警報器 講演会」事業報告… 6
- ・青年委員会
あーき塾2013 近畿あーきてくと2013報告
- ・女性委員会 Doシリーズ No63
「自然エネルギーによるまちづくり」
見学研修 報告…………… 7
- ・地区だより…………… 8
湖北地区
- ・新入会員のご紹介
- ・4月の暦
- ・足のむくま 近江再発見 第7回



東阿閉公民館（長浜市高月町）

国道8号から西へ、細い路地のような道を入ると集落の谷間を抜けると、急に視界が開け、田園の中の集落に忽然とゴシック様式を思わせる、高さ30mの尖塔を持った建物が現れる。通称「ヤンマー会館」と呼ばれるこの建物は、ヤンマーディーゼルの創始者である山岡孫吉翁が、1952年、その生誕地であるこの地に寄贈したものである。

不思議なことに、これだけの高さがありながら、国道からも西側の湖周道路からも、さらには近くを走る高架の北陸道を走っていても、なかなかその存在に気づくことができない。

狭い家並みを抜けて、初めてこの光景に出会うのは、感動的ですからある。

対談 滋賀県立大学「田の浦地区」復興支援活動に学ぶ

相手方：滋賀県立大学 全学共通教育推進機構 鵜飼 修 准教授

聞き手：(公社) 滋賀県建築士会 会長 山本勝義

会長 本日は鵜飼先生には大変お忙しいところお時間をいただきまして誠にありがとうございます。

私共建築士会では毎月会報を発刊しておりますが、東日本大震災の被災地を思うと共に、地震への備えを喚起する為に震災についての記事掲載を企画いたしました。鵜飼先生と県立大学生の方々の活動についてお話をお聞かせいただき私共建築士にご示唆を賜りたいと考えます。

早速ですが、鵜飼先生は東北に御縁がお有りだと伺っておりますが、先生と東北とのつながり、そして震災後東北に入られた時のご感想をお聞かせいただき、震災後支援活動を始められた経緯と活動の概要をお話いただけますでしょうか。

鵜飼 滋賀県立大学に赴任する前は大成建設の設計部に勤めておりました。入社3年目に仙台の東北支店設計部に異動し、仙台には3年半住んでおりましたので、今回の震災で被害にあったエリアもだいたい訪問したことがありました。3月11日は大学にいたのですが、その後テレビで繰り返し流される震災の映像を見て、もう涙が止まらず、余りの惨状に頭の中が真っ白でした。7月によく被災地を訪問する事ができて、陸地の奥に船が有ったり、コンクリート構造物が倒壊していたり、最初ここには何が在ったのか全く分からない状況に衝撃を受けました。

会長 震災後南三陸町に行かれて活動をされたと伺っておりますが、昨年私共滋賀県建築士会も南三陸町にお伺いして佐藤町長に義捐金をお渡しさせて頂きました、南三陸町とは何か繋がりが有ったのでしょうか。

鵜飼 震災直後は自分が何をすれば良いのか全く判らずただ時間が過ぎていました。私が東北に入ったのは7月になってからです。南三陸町の「田の浦」という小さな漁村集落にうかがいました。田の浦に行くこととなったきっかけは、5月の連休に県立宮城大学の竹内先生が実施した、志津川漁港の「番屋」（漁師さんの休憩所）建設に参加した滋賀県立大学の学生達が、「自分たちも番屋をつくりたい」と私に相談にきたことです。私の実施している大学院のプログラム「近江環人地域再生学座」（学座）の卒業生に社協に勤めている方がいて、その方の知人（現地の社協さん）の仲介で、田の浦で活動させていただく事になりました。

ただ、番屋建設だけでは一時的なもので終わってしまうので、交流を「継続的なものにしていきましょう」と現地の方々と合意しまして、養殖組合の皆さんを中心に、学座の卒業生で組織されたNPO法人環人ネットが支援する形で



「エコキャンドルほたてあかり」 「田の浦ファンクラブ」を立ち上げ、滋賀県立大学の学生グループと連携して継続的な



活動を現在も続けています。

会長 その活動はどのような内容ですか。

鵜飼 学生グループは「木興プロジェクト」「ほたてあかりプロジェクト」「未来看護塾」の3つです。「木興プロジェクト」は建築の学生達を中心に組織されたグループで、2011年8月に「番屋」を、2012年8月には「集会所（交流センター）」の建設を実施しました。「ほたてあかりプロジェクト」は、海の仕事が出来なくなったお母さんたちの「仕事づくり」としてエコキャンドル「ほたてあかり」を考案し、お母さんたちに製作してもらい学生達が販売しています。6千個以上を販売してお母さん達の収入の足しにいただきました。「未来看護塾」は、現地への慰問的な活動をしています。足湯やハンドマッサージなどでストレスを解消するような交流イベントを実施しています。「田の浦ファンクラブ」は、こうした活動の受け皿、交流活動の窓口、そして寄付金の受付窓口となっています。また、学生達が現地の人たちを対象に行った「聞き書き」をまとめた冊子、震災の記憶をまとめた冊子「3.11田の浦」、人々の暮らしをまとめた「海と人との暮らし方」も発行しました。



会長 学生達の活動は最初から計画のとおり進みましたか。

鵜飼 後日、現地の方から話を聞いたのですが、私たちが最初現地に入った時は、詐欺が横行していて、「きっとこの人たちも建物建てたあとから請求書を出してくるのではないか？」と思われていたそうです。現地の社協さんの仲介がなくては、信用してもらうことが出来なかったのだと思います。その後は、何度も訪問し、現地での話し合いを重ねたことと、学生達の親身な活動で信頼関係ができ、活動が継続できているのだと思います。

会長 今後はどのように活動を続けて行かれますか。

鵜飼 震災を契機に「復興支援」の活動をしています。私たちの動きは一般的な「まちづくり活動」と同じだと思います。まちづくり活動では、少子高齢化・人口減少の時代に、地域が「外（そと）」とつながり、活力を得て未来に継承することが必要となっています。ファンクラブの活動は、まず地域住民が自らの地域の魅力に気が付き、「自分の地域のファンになる」活動です。このような、まちづくりの活動は、継続性が大切です。地域診断を通じて、地域の方向性を見定めながら、コミュニティ・ビジネスの視点をもって、お金を廻し、地域住民が主体となって継続的な活動ができるようになることが必要です。

地域診断を通じて、田の浦には「海と共に暮らす」すばらしい生活文化が継承されていることがわかりました。近年の120年間で4回津波に襲われていますが、豊かな海と自然のなかで育まれ生活文化があるのです。そうした生活文化を未来に継承する一端として私たちの動きがあるのだと思います。現地の人たちが自分たちの力だけで活動が出来るようになるまで継続して関わって行きたいと考えています。

会長 今後も引き続きご活躍くださいますようお願い申し上げますと共に、建築士会としまして何かお手伝いできる事がございましたらお声掛け頂ければと考えます、本日はありがとうございます。

平成25年2月6日(水) 滋賀県立大学 鵜飼研究室にて

日時：平成25年2月23日(土)～24日(日)

行程：(23日)伊丹空港 ⇒ 仙台空港 ⇒ 世界文化遺産平泉・金色堂 ⇒ 防災対策庁舎（南三陸町）
⇒ 大川小学校（石巻市）⇒ 沿岸部視察 ⇒ 仙台市内・ホテルモンテ仙台泊
(24日)ホテル ⇒ 松島（遊覧船）⇒ 瑞巖寺 ⇒ 仙台魚市場（買物）⇒ 沿岸部視察 ⇒ 仙台空港 ⇒ 伊丹空港

■仙台空港付近

施設は何事もなかったように普通であるが、車で道路に出たら周りは何も無い。瓦礫の山が海岸沿いに積まれているところが何力所もあり、松並木があったであろう場所は、津波によってなぎ倒され、ところどころに塩枯れの松がポツリポツリと残っているのみだ。途中の道沿いに鉄骨造の建物が残っていたが考えられない形で残っていた。



仙台空港ロビー

■防災対策庁舎（南三陸町）

2日目の行程だったが、悪天候が予想されたため、中尊寺から南三陸町に向かった。山間部から沿岸部に約1時間半の移動だったが、景色が変わったのは南三陸町に着く15分前あたりからだ。南三陸町の志津湾に流れ込む志津川の川沿いの堤防が崩れており、山裾のあたりも整地されており何も無い状態が続き、沿岸部に出たとたんぽつんと防災対策庁舎が建っていた。TVの映像では見ていたが実際目の当たりにすると言葉が出ない。海から近く、海拔も0mに近い場所になぜ防災対策庁舎?。と思わずにはいられなかった。



防災対策庁舎

■大川小学校（石巻市）

防災対策庁舎を後にし、宿泊地の仙台市に帰る途中、沿岸部、大川小学校に寄ってもらうこととなった。大川小学校までにも何校か被災した校舎があったが、沿岸部のためすぐ非難できたのだらうと思われた。北上川河口から約4キロの川沿いにあった大川小学校は全校児童の7割が死亡、行方不明となった小学校でTVで最も報道されていたとの記憶がある。海から離れていたこと。北上川の堤防があったこと。やはり危機意識が低かったのかと思えた。また、すぐ後ろに裏山があり、「そこに上がっていれば」と思わずにはいられなかった。



大川小学校

■中尊寺金色堂

今回の東日本大震災で、中尊寺周辺は大きな被害は出なかったようだ。またシーズンオフにもかかわらず、観光客も多かったように思えた。



中尊寺金色堂

■松島（松島湾周辺）

2日目は雪模様のため、予定を変更し松島周辺をまわることとなった。松島も津波被害は聞いていたが、観光船乗り場、土産物店は復旧していた。観光船乗り場内には、当時の写真と、津波の高さの表示があった。大体1.6m、人の身長ぐらいまでだった。仙台空港内では約3m、南三陸では約10mと場所によってかなりの差があるようだ。松島さかな市場により、おみやげを買う。けっこうな賑わいだった。



松島遊覧船乗り場ロビー

■松島から仙台空港まで

松島から仙台空港まで沿岸部を走ってもらう。賑わっているところは復旧しているように見えた。が少し外れると道路が満潮には水浸しになるところや、防波堤が全体に1m沈下したままの場所や、まったく更地のままのところがあり、「まだまだこれから」という思いを胸に帰りの飛行機に乗った。



仙台市沿岸部

総務企画委員会

平成25年度 通常総会開催のご案内

本年度の通常総会を下記の通り開催いたしますので、ご出席いただきますようお願いいたします。

なお、会員のみなさまには、別途ご案内を送付させていただきます。詳細はそちらをご覧ください。

- **開催日** 平成25年5月25日(土)
- **開催場所** 大津プリンスホテル 滋賀県大津市におの浜4丁目7番7号 TEL. 077-521-1111
- **開催時間** 通常総会：15：00～17：00 懇親会：17：30～19：00
懇親会にご出席の方は、参加費 5,000円をお支払い下さい。
- **申込〆切** 平成25年5月24日(金)まで

◎ご出席の有無を必ずご返信ください。(ご欠席の方は委任状をお出しく下さい。)

◎懇親会がございますのでお車でのご来場はご遠慮ください。

まちづくり委員会

第3回 建築甲子園 表彰式 の報告

さる2月25日、「外来魚。～新しい地域のくらし～」で準優勝という成績をおさめられた滋賀県立安曇川高等学校に表彰式に伺った。校長室での式典には、数社の新聞社も取材に来ており賑やかな中、表彰式を執り行った。山本勝義会長より、表彰状および記念品が授与された。

式典後は、岩村忠晴校長と同校の教育理念について懇談する時間も持つことが出来て、滋賀県建築士会としても有意義なものとなった。

ご指導にあたられた大田明博教諭、総合学科建築デザイン系列3年生、伊庭卓弥君、高尾卓矢君、野崎裕貴君、おめでとうございました。



式典出席者集合写真



岩村校長との懇談



新聞社のインタビュウを受ける受賞者たち

平成25年度 一級建築士定期講習
二級建築士定期講習 木造建築士定期講習 のおしらせ

平成20年11月28日に施行された新建築士法の規定により、建築士事務所に所属する一級建築士、二級建築士又は木造建築士の方は、3年毎に国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う、一級建築士定期講習、二級建築士定期講習又は木造建築士定期講習を受ける事が義務付けられています。

(なお、施行日以降に建築士試験に合格した方で建築士事務所に所属した建築士の方は、その合格日の属する年度の翌年度の開始の日から起算して3年以内に建築士定期講習を受講すればよいこととなります。)

登録講習機関 財団法人建築技術教育普及センターの講習会を担当する公益社団法人滋賀県建築士会の平成25年度の建築士定期講習の日程をお知らせさせていただきます。

【講習日・講習会場について】

- 平成25年度 第1期 講習日：6月26日(水) 講習会場：ピアザ淡海 受付：平成25年4月1日～5月31日まで
- 平成25年度 第2期 講習日：9月頃 講習会場：未定 (彦根開催予定)
- 平成25年度 第3期 講習日：12月頃 講習会場：未定 (大津開催予定)
- 平成25年度 第4期 講習日：2月頃 講習会場：未定 (彦根開催予定)

受講申込関係書類の配布・申込みにつきましては、

公益社団法人 滋賀県建築士会 〒520-0801 大津市におの浜1-1-18 滋賀県建設会館3階 TEL 077-522-1615
にお問合せ下さい。

受講手数料 (テキスト代含む) 12,900円 (消費税含む)

お知らせ

構造計算適合性判定における「よくある質疑事項の解説」の説明会

【主催】一般財団法人日本建築総合試験所 【後援】滋賀県

■開催主旨

この度、構造計算適合性判定をより円滑に行うという観点から、大阪府と当法人を含む阪適判3機関は共同で、これまで蓄積された質疑を基に、大阪府内建築行政連絡協議会及び一般社団法人日本建築構造技術者協会関西支部の協力を得ながら、「よくある質疑事項の解説」を取り纏めました。

当法人では、大阪府域外の建築構造設計者や確認検査機関の方々にもご案内することが有益と考え、関係各位のご了解のもとに「よくある質疑事項の解説」の説明会を次の通り開催させて頂くこととしましたので、ご案内させていただきます。

■日程・会場等

日程	会場	開催時間	定員
平成25年5月10日(金)	コラボしが21:3階会議室2	13:30～17:20【受付13:10～】	30

※定員に達し次第、申込を締め切らせて頂きます。

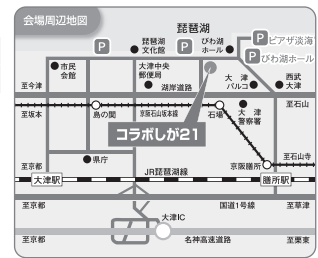
■会場案内図 アクセス ・JR琵琶湖線 (JR東海道本線)「大津」駅よりバス約7分、または徒歩約20分

- ・JR琵琶湖線 (JR東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分
- ・京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分

■お申し込み・お問い合わせ:

- ・当法人のHP (<http://www.gbrc.or.jp>) から、申込書兼参加票をダウンロードできます。
- ・申込書兼参加票の太枠内に、お一人様1枚ずつ必要事項をご記入のうえ、FAXまたはE-Mailでお申し込み下さい。
- (一・財) 日本建築総合試験所構造判定センター構造計算判定部業務課担当:白藤 (しらふじ)
- TEL=06-6943-4680 FAX:06-6943-4681

■参加費：無料



平成25年二級建築士試験・木造建築士試験案内

二級建築士試験及び木造建築士試験は、建築士法第13条の規定に基づいて、都道府県知事により行われるものです。試験の実施に関する事務は、建築士法第15条の第6第1項の規定に基づき、都道府県知事から都道府県指定試験機関の指定を受けた財団法人建築技術教育普及センター(以下「センター」という。)が行います。受験申込に関して不明な点については、センター又は住所地の都道府県ごとに設立されている一般又は公益社団法人の建築士会(以下「都道府県建築士会」という。)へお問い合わせ下さい。

なお、二級建築士試験及び木造建築士試験は、受験資格が同じで試験日が異なることから、それぞれの受験申込手続きを行うことにより、両方の試験を受験することが可能です。

受付場所における受付

(初めて受験する者及び過去の二級・木造建築士試験の受験票(原本)又は合否の通知書(原本)を受験申込書に貼付できない者は、受付場所において受験申込を行って下さい。)

受付期間：平成25年4月11日(木)～4月15日(月) (土・日曜日を含む) 受付時間：午前10時～午後5時

受付場所：住所地の都道府県建築士会が指定する場所 (住所地の都道府県以外の受付場所では一切受け付けません。)

なお、センター指定の払込用紙により、あらかじめ受験手数料を納付したのち、受験申込書を受付場所に持参して下さい。(証明書類等の確認を行いますので、原則として、本人が持参して下さい。)

受験手数料 16,900円 (他に、払込手数料が必要です。)

センター指定の払込用紙により、ゆうちょ銀行又は郵便局で納付して下さい。なお、一旦納付された受験手数料は、センターの責により試験を受けることができなかった場合を除き、返還されません。

必ず提出する書類 (すべての受験申込者が提出しなければならない書類)

- ①受験申込書 ②振替払込受付証明書
- ③写真2枚 (無帽・無背景・正面上3分身を写し、本人確認ができる写真【縦4.5cm、横3.5cmで、受験申込前6カ月以内に撮影したもの】)

あーき塾2013 「わさび臭気発生装置付 住宅用火災警報器 講演会」事業報告

青年委員会は去る2月13日(水)に、あーき塾2013「わさび臭気発生装置付 住宅用火災警報器 講演会」と題し、2012年度、『わさび臭気発生装置付 住宅用火災警報器』の講演会を開催しました。

松井委員長の挨拶の後、大津市消防局 予防課 堀井昌弥様に、住宅用火災警報器について、設置義務やその有効性・維持管理など、少し法律的なことも含め、詳しくご説明を頂きました。

その後、本日のメインとなります、滋賀医科大学講師の今井眞先生に、イグ・ノーベル賞受賞までの経緯や開発段階での実験等のお話しをして頂きました。冒頭に、その装置に使われている「わさび臭」を嗅がして頂き、その強烈な刺激臭に、むせかえる方もおられるなど、終始、楽しい講演でした。

また、今回の事業におきましては、その装置が必要な方々は、主に難聴者・失聴者の方々であるため、社団法人 滋賀県ろうあ協会など、士会以外の方々にも、広報等、多数ご協力頂きました。また、当日は、要約筆記・手話通訳のご協力を頂きました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

今回の事業で、今期及び今年度の、青年委員会第2部会（研修事業担当）の、予定しておりました全ての事業を、各回、盛況の内に終えることが出来ました。各事業共に、多数の方にご参加・ご協力頂きまして、改めて、この場をお借りし、感謝申し上げます。ありがとうございました。

次年度は、新たな体制での事業展開となりますが、次年度以降も青年委員会の各事業にご参加頂けたら幸いです。



滋賀医科大学 今井眞氏とわさび臭を嗅いでいる来場者



大津市消防局 予防課 堀井昌弥氏による住宅用火災警報器の説明

あーき塾2013 近畿あーきてくと2013報告

2月9日(土)、大阪府健保会館において第20回近畿あーきてくと2013 地域実践活動発表会が開催されました。例年、各府県を代表して1名の発表者が地域での活動を発表していくのですが、今年度は当青年委員会の野邑副委員長が所属の栗東市街道百年ファンクラブを代表して『歴史街道と山村集落の一体的再生～その後～』というテーマの発表を行いました。2年前の青年委員会木村相談役の発表から「その後」の活動の報告であり、様々な試みに取り組んでいる観音寺地区のまちづくりを豊富な資料による解り易い説明で活動内容が大変よく伝わってきました。また、第2部の京都大学大学院の門内教授の講演も京都市内における「まちづくり」を対象としたもので非常に面白いお話をして頂きました。他府県の発表内容と併せて、今回は特に、新たに新築などをするのではなく、今在る建物や景観をどう活かしていくかという『まちづくり』を中心とした印象的な発表会となりました。



会場風景



野邑副委員長の発表

「自然エネルギーによるまちづくり」 見学研修 報告

高知県梼原町へ「自然エネルギーによるまちづくり」の実地見学に参加した。参加者25名（内一般4名）で、3月2～3日1泊2日の日程であった。昨年9月に滋賀県草津市で行われた前町長中越武義氏の講演を拝聴し、是非この目で現地を見学したい、との思いで実現した研修だ。初日は早朝よりバスにて出発し、14時過ぎに梼原町へ到着。梼原町環境整備課 環境モデル都市推進室の那須俊男氏の案内で、地中熱を利用した“雲の上の温水プール”を始め、“雲の上のホテル”、“雲の上のギャラリー”と、隈研吾氏の一連の作品を見学した。そして、庁舎（もちろん隈研吾氏の設計）にて前町長中越武義氏の講演を拝聴した。その後、雲の上の温泉にて疲れを癒し、一日が終わった。

翌日は“小水力発電施設”、“CO₂を出さない体験型モデル住宅”、“ペレット工場”と、風力発電のある四国カルスト高地の見学をした。昼食後、お世話になった那須氏と梼原町に別れを告げた。そして、大屋根のアーチ梁を県内産の杉の集成材と鉄骨とのハイブリッドトラス構造で組上げられた高知駅に立ち寄り、帰路に着いた。予定通り20時30分頃解散となった。

梼原町は、町内の施設は全て町内産材を利用した木造建築とし、間伐材や端材からはペレットを生産して、第三セクターによる森林づくりに取り組む環境モデル事業を展開している。（ちなみに、ペレットは、杉7に檜3の割合で作るのがいいらしい）風況が適しているとの調査結果で設置された風力発電は売電され、小水力発電の自然エネルギーは、昼間は中学校の照明に、夜は町中の街灯に使用されている。現在電力自給率28.5%だが、2050年には100%を目指しているそうだ。町の進むべき方向をしっかり定めて、将来にどう繋げて行くかが重要との話に、その土地や地域にあったエネルギーの利用を地域全体で検討する事の重要性、大切さを学んだ。小水力発電は滋賀県にも適した自然エネルギー利用となるのでは？との那須さんの意見に参加者の多くは同感した。いつも通り、盛り沢山な内容で充実した研修だった。

(M. K)

雲の上ギャラリー：
ブリッジ棟雲の上のギャラリー：
ギャラリー棟

まちの駅「ゆすはら」内観



地熱利用したの雲の上のプール



中越前町長の講演



梼原総合庁舎前にて集合写真.



ペレット工場見学

湖北地区

長浜市役所新庁舎建設工事見学会

2月22日(金)1時30分より長浜市役所新庁舎建設工事見学会を開催しました。

皆様の関心も深く30人の定員をオーバーする42人の参加者になりました。

現場会議室での、フジタ・材光特定建設工事共同企業体の渡辺副所長から工事概要、進捗状況、技術提案の説明、(株)日本設計の中島様より設計コンセプトの説明をいただいた後、現場の



見学に行きました。

幸いにも、午前中まで降っていた雪もやみ、良い天気の中、鉄骨建入の3次元測量やコンクリートのRIコンクリート水分計による単位水量の連続測定、エアマット防振層等の技術提案の実施状況の説明を受けました。

お世話になった皆様、ありがとうございました。

新入会員のご紹介

支部	氏名	支部	氏名	支部	氏名
大津	宮下隆年	湖東	川村晃久	湖東	柴谷幹子
湖南	北村尚介	湖東	山口寛子	湖東	井口和樹
湖南	佐藤恒臣	湖東	乾良幸	湖北	江崎誠

平成25年2月・3月理事会承認分

4月の暦

1	月	仏滅		11	木	仏滅	二級・木造建築士試験 受付15日まで	21	日	友引	
2	火	大安		12	金	大安	甲賀地区会員大会	22	月	先負	
3	水	赤口		13	土	赤口		23	火	仏滅	
4	木	先勝	第9回親睦ゴルフコンペ	14	日	先勝		24	水	大安	
5	金	友引		15	月	友引		25	木	赤口	理事会、理事予定者会議
6	土	先負		16	火	先負		26	金	先勝	湖南地区会員大会
7	日	仏滅		17	水	仏滅		27	土	友引	大津地区会員大会
8	月	大安		18	木	大安		28	日	先負	
9	火	赤口		19	金	赤口	高島地区会員大会	29	月	仏滅	昭和の日
10	水	先負		20	土	先勝		30	火	大安	監査

足のむくまま 近江再発見

前庭にある山岡孫吉翁生誕の地碑

山岡孫吉翁は、世界のディーゼル王と言われた郷土の偉人。大阪瓦斯の工事夫から身を起し、学歴の不足を自らの見聞によって補い、仕事に没頭することで小型ディーゼル機関の開発に成功した。生まれ故郷である湖北地方の振興にも力を尽くした。



東阿閉公民館全景



山岡孫吉翁生誕の地碑